自立・自己実現
①生活習慣と規則を守る力
②仲間とともに高まる力
③自ら学び、考え、判断する力

学校だより DREAM

茨木市立西中学校
1月　№10
発行責任　田中義明

「あけましておめでとうございます」！

みなさん、明けましておめでとうございます。良い新年を迎えることができましたか。今年の正月三か日はお天気にも恵まれ、暖かくて、初詣にでかけた人も多かったのではないでしょうか。

初詣とは＝新年になって、正月に初めて神社やお寺、寺院に参詣し、その一年の幸せを祈願することを言います。

日本のお正月は、各家庭で、その年の福をつかさどる歳神様（としがみさま）に鏡もちをお備えし、門松をたててお迎えし、おせち料理を作ってその年の豊作や家内安全などを祈ってきました。歳神様からのお下がりであるおせち料理を頂いたあと、歳神様のいる方角にある神社、寺院にお参りするというのが恵方参りといいます。（＝恵方（えほう）･･･縁起の良い方角と考えられてきました:今年の恵方は南南東）この恵方参りが初詣になったと考えられています。

また、神社でお参りした後、おみくじをひいた人も多いかと思います。大吉が出た人も、凶が出た人もいるでしょう。おみくじでひいた運勢がすごく気になる人もいるかも知れません。おみくじは、平安時代からあったと言われています。その時には、人の運勢を示すだけでなく、まつりごと（政治）の判断をする時にも使われていました。昔の日本人は、今以上におみくじに一喜一憂していたようです。

しかし、おみくじは、そのときの運勢を占うもので、その効果は1週間くらいとも言われています。ですから、大吉や吉など良い場合も、凶など悪い場合も必要以上に気にすることはないのです。それよりも、良い場合も悪い場合も、気持ちを引き締め、平常心で生活していくことが大切です。 つまり日常を大切にし、良くなりたいという気持ち、努力することで運勢はどのようにも変わるということです。

正月の「正」という漢字には、「あらたまる、きちんと」という意味があるということは、以前にも紹介したことがありますが、私たちの生活の中に根付いているお正月をきっかけに、変わるチャンス、さらに飛躍するチャンスがあります。

これまでの悪いものを払い落し、新たな気持ちで3学期をスタートして下さいね。

今年1年、皆さんに幸せがくるように、また、安全・安心に過ごせるよう努力したいと思います。

クラスのゴールは見えていますか

4月にスタートしたクラスは、日常の積み重ねや、行事を通じた取り組みを経て、仲間関係が深まり、高まってきています。しかし、ゴールがすぐそこに見えているクラスもあれば、ゴールから遠ざかったり、新たな課題を乗り越えなければばらないクラスもあるかもしれません。どのクラスも、頑張ってきたのに、その違いはなぜ生まれてきたのでしょうか。答えは一つではなくて、クラスによっても違うと思うけれど、考えるヒントを一つ書いておきます。

© Can Stock Photo

「あなたメッセージ」と「私メッセージ」

A 君はいつもテストの点数が悪く、10点台しか取れません。しかし、ある時一念発起して、テスト勉強を頑張りました。そしたら、テストの点数が一気に50点代まであがりました。テストが返ってきた日に、A 君は嬉しくて友達の B 君と C 君にそのことを話しました。すると2人が、答えてくれました。

B 君「頑張ったな。A 君もやればできるやん。」

C 君「よかった。ほんまにうれしいな。教えてくれてありがとう。」

あなたなら、どちらの答えがうれしいですか？

B 君の答えは、あなたが頑張った、あなたが良かったという**「あなたメッセージ」**、C 君の答えは、私がうれしい、ありがとうという**「私メッセージ」**です。B 君の答えは、なんとなく上から目線のように感じますが、C 君は、A 君の頑張りを本気で喜んでくれているように感じます。

本気の声かけを目指している皆さんのことですから、クラスで仲間に一所懸命声をかけている人も多いはずです。だけど、同じ仲間なのに、上からの目線で、声をかけても相手に響かないことがあります。あなたの頑張りを私はとてもうれしいという「私メッセージ」が増えると、今よりも、クラスが深まり、ゴールに近づくんじゃないかと思います。それぞれのクラスで考えながら、あと三カ月、クラスを高め、ゴールに到達できるよう取組んでみてください。

それぞれの進路を切り拓くために

3年生の皆さんにとっては、あと少しの中学校生活となりました。年末の進路ミーティングで、不安や悩みを抱えているのは自分だけじゃないと気付きました。『受験は団体戦』、互いにしんどいことを抱えた仲間だからこそ、より深くつながることできます。そして、残りの日々を共に過ごす中で、人間として大切なこと、たとえば、仲間を大切にするとか、物を大事にするとか、時間を大切にするとか、そんなことを自然に身につけてほしい。安心して学ぶことができる学習環境を創ってほしいと願っています。それが進路へつながります。

月	日	３学期の主な予定
1	13	実力テスト・チャレンジテスト
1	26	３年　学年末考査（26～28）
1	27	１・２年百人一首大会
1	28	私立高等学校出願
2	1	３年　面接練習
2	10	私学入試（10・11） 新入生説明会
2	15	公立特別入学者選抜出願
2	22	公立特別入学者選抜入試(22・23)
2	24	3年生を送る会
3	2	１・２年　学年末考査（２～４）
3	3	公立一般入学者選抜出願（3～7）
3	10	公立一般入学者選抜入試
3	14	卒業式

みなさんの生活に置き換えてみると、4月に「良くなりたい気持ち」や「良くなる力」を持って1年をスタートしたと思います。しかし、1学期・2学期の間に、少しずつ緩んでしまい、サボりたい気持ちが出たり、仲間のことよりも自分のことが優先になってしまった。これがまさに煩悩の仕業です。自分の煩悩に悩んでいる人も、着実に歩みを進めてきた人も、大晦日に煩悩を祓い、新年の初めに、リセットし、もう一度自分を見つめ、仲間とつながりを振り返り、「良くなりたい自分」を前に押し出してスタートできる。そんな力が除夜の鐘にはあるというんです。

3学期は、1年の締めくくりの学期です。そしてさらに良くなるチャンスがあるということです。3年生は受験に向け、自分の力を発揮できるよう、2年生は学校の中心として学校を引っ張る責任と立場を自覚し、1年生は入学してくる後輩に1年生の力を見せられるよう、今まで、積み重ねてきた力をいかしてほしいと思います。その力はついているはずです。

そして、人間として大切なこと、たとえば、仲間を大切にするとか、物を大事にするとか、時間を大切にするとか、そんなことが自然に身につき、あたりまえにできる。みんなの良くなりたい気持ちを大切にできるようになってほしいと願っています。

当たり前

12月の最後、各学年の学年集会で、2学期には「行事などを通じてクラスの団結力が高まり、仲が良くなった」半面、「チャイム着席やJ4などに課題がみられた」という報告がありました。

これが、どの学年でも、3学期をスタートするにあたっての課題です。

J4

「西中校区の集い」

3年生は進路選択の時期

(1) 本日の始業式の話。

日本の精神風土は、共同体の共通善（世間、ひかえめ、親切等々）が基盤。

↓

世間のプ ラ ス 面＝協調性。共通善を重んじる。→公共性やモラルの基盤。

マイナス面＝自己主張（責任）がない。　世間を気にする。

日本の学校は共同体意識（共通善とそれを担っている学校への信頼）のうえに成りたっている。

(2) 12月27日に保護者対応をした…不登校の学習保障をどうしてくれるの論調。

(3) 保護者苦情と維新の共通基盤

一言で言えば、クレーマー体質

私的要求の肥大化と傲慢さ…世間へのはばかり、弱者へのまなざし、協調性がない。

本来、日本ではもっとも忌み嫌われる姿

日本の学校基盤と正反対の姿

今日の始業式の話　保護者の言われた内容　大坂の教育情勢（近々に統一テストの実施方法発表）

この3つはつながった話である。　今の学校で、最も認識をしておく必要があること

(3)①始業式の話。　生活の現実を大切にする。　共通善、公共性、相互扶助、権威

②保護者苦情　被害者が絶対善である ⟷ 共通善

※ 人権意識の高揚、　社会参加の拡大……一面を絶対視

③大坂の教育情勢　成り上がり勝者（敗者・被害者の裏返し）が絶対善となる　⟷ 共通善

既成権威の制度疲労 や 社会の閉塞感批判で保護者苦情をすくいとる

※ 民意（選挙）、　競争主義……一面を絶対視

保護者個人の損得を基準にした私事性と維新の損得を基準にした私事性が一致する。

現実や真実への配慮、真摯な姿勢がない。　敗者へのまなざし＝人間観、人格の問題

(4) 保護者苦情・大坂の情勢に対して

学校は、選別機能の側面がある→格差の拡大・固定。

学校の公的任務は格差の拡大を防ぐというセーフティネットの役割がある。

①実態を作るでしか対応できない（対権力・ねじ込みによる実態）…集団づくり

②言うべきことを言う…訴訟の論理（損得論理）が正義（マイノリティの声や既得権批判）の衣をきてい

る。　その正義をきっちりと批判できる論理を持つ（できる事とできない事の区別の論理性）